

多数傷病者対応訓練

救急救命士研修

東北自動車道多重衝突事故を踏まえて

昭和59年・平成4年・平成12年と過去の東北自動車道多重事故の歴史を振り返りながら、これまでも研修や訓練を繰り返してきた。令和3年1月19日のホワイトアウト環境下で発生した多重事故では141台19名もの死傷者が発生し、早急な活動につなげてきたが、また新たな課題も見えてきた。

実働シミュレーション訓練

集団災害時のスムーズな初動対応を行うべく、先着隊対応や、指揮体制・トリアージを二日間に分けて、48名の救命士を中心に総勢64名が参加、特に情報伝達と集約を効果的に実施できることを重点的に訓練を行った。



対応要領と訓練説明



意見交換・総合検討会



実技シミュレーション